



## Be creative! 文化祭2日目 「豊かな表現者」になろう!

今年度の文化祭が幕を降ろしました。閉祭式にて、講評として皆さんにお話をしたことをもとに、今年度の文化祭をまとめてみます。質・満足度の高い文化祭にするために必要なものは何か、考えてみました。

### ★文化部の健闘・成長があってこそその文化祭！ ㊦㊦㊦



軽音楽部の発表は私たちに「歌うことの楽しさ」を教えてくれるものでした。次々と感情豊かに歌う生徒たちの様子を見て、生徒たちが自由に表現する力を持っていることをうらやましく思いました。昨日の吹奏楽部・ダンス部・演劇部・和太鼓部の発表と並び、文化部の皆さんの健闘・成長があってこそ、文化祭の質が高まるのだと実感する2日間でした。

### ★企画力・発想力を究める！ ㊦㊦㊦

ここでは再度、生徒会執行部の企画である「運命の人を探せ」に注目したいと思います。全校生徒を巻き込んでの企画でした。五色ほどのリストバンドが全員に配布されました。そのリストバンドには番号が書いてあります。同じ色・番号の書かれたリストバンドをした「運命の人」を探します。自分たちの企画を行いながら、「運命の人」を探し、「運命の人」に出会ったら、一緒に中庭に向かうという企画です。50組以上(100人以上)の人たちが中庭にやってきたとのこと。単純な企画ながら、なんと豊かな発想に満ちた取り組みだろうと感心しています。この企画に込められた生徒会執行部の皆さんの願いは何か、じっくりと考えたいと思います。



### ★「おもてなし」の心が、企画の質を高める！—自分たちの企画を「愛する」心 ㊦㊦㊦

今回の文化祭のクラス企画は体験型・参加型がほとんどでした。企画そのものにそんなに大きな差はないのに、参加者でいっぱいクラスと閑散としているクラスの双方がありました。その違いは何かと考えると、やはり「おもてなし」の精神にたどりつきます。「みんなに参加してほしい。」「楽しんでほしい。」「そのために自分たちはどうあることが必要なのか。自分たちの企画への愛情なのかもしれませんね。」「先生、やっていきませんか。」「今なら、席が空いていますよ。」「この教室は何をやっているんだろう。入っていいのかな。」



教室の外側から様子をうかがう一般参加者の皆さんを何人か見



ました。初めてのお店に入るときと同じ気持ちですね。「どうぞ」「ようこそ」と言われれば入りたいが、声掛けがないと「やめておこうかな」となりますよね。「誘われてやってみたら面白かった、楽しかった!」この体験が生む満足感があれば、





「この文化祭に来てよかった」という思いが生まれます。参加者の皆さんだけではなく、企画者・実践者の皆さんの心にも満足感が残ります。「これをやろう!」と決めたことを愛し、価値ある企画に育てることは大事なことにように思います。この「おもてなし」の心に育てられた企画から得られた満足感は、やがて皆さんの中に自己肯定感となって根づき、大きく成長していくように思います。

**模擬店・バザーが復活! この取り組みを来年につなげよう!**



皆さん、お疲れさまでした。